

2026年 4月 5月 6月 中の会カレンダー

中の会イベント

- ・4月 3日(金) 小金井公園さくら散策
9:50 国立駅上りホーム6号車前 集合
- ・4月10日(金) 12:00 おとこの台所 中防災センター
- ・5月 8日(金) 12:00 おとこの台所 中防災センター
- ・6月12日(金) 12:00 おとこの台所 中防災センター
- ・6月13日(土) 11:30 国立会中の会 総代会 中防災センター

おとこの台所 申し込み先：
田代 080-9578-7340
前日まで先着25名まで

さくら散策 連絡先：
田代 080-9578-7340
古川 080-5033-8225

大学通り清掃 (毎月第2日曜日、第4日曜日)

- ・4月12日(日)、26日(日) 9:00 ガスト南集合
- ・5月10日(日)、24日(日) 9:00 ガスト南集合
- ・6月14日(日)、28日(日) 9:00 ガスト南集合

資源物回収

- ・4月 4日(土) 8:30 中防災センターへ集積
- ・5月 2日(土) 8:30 中防災センターへ集積
- ・6月 6日(土) 8:30 中防災センターへ集積
(雨天の場合は、当日午前7時に判断し、状況により翌週に順延。)

中の会理事会

- ・4月17日(金) 19:30 オンライン会議
- ・5月16日(土) 10:00 中1丁目集会所 (予定)
- ・6月19日(金) 19:30 オンライン会議

理事会

日時：令和7年12月19日(金) 19時30分

オンライン 出席者 12名 議題は次の通り

1. 令和8年1月17日新年会開催にあたり、役員役割等について種々検討した。
2. 12/28 中の会餅つき会の準備状況報告があった。
3. 国立市公園協力会(二小)について報告があった。
4. 令和8年1月～3月のイベント予定について確認した。



日時：令和8年1月10日(土) 10時00分

場所：中地域防災センター 出席者 11名

議題は次の通り

1. 1/17 開催の中の会新年会の詳細について種々検討した。
2. 予定のイベントについて確認した。



日時：令和8年2月20日(金) 19時30分 オンライン 出席者 10名 議題は次の通り

1. 新年会について感想、反省点、改良点について、自由発言。明年の新年会も大成功の会を目指すことを確認した。
2. 2/8防災訓練(ドローンの講義あり)、2/13おとこの台所、2/17観梅会(6人が参加)の終了報告があった。
3. 国立会中の会50周年記念誌編集委員会から中間報告があった。
4. 令和8年度理事・役員について種々検討した。
5. 中の会として寄付全般について検討する委員会を立ち上げることを確認した。
委員は(敬称略)木島、吉田、坂本



新入会員 令和8年3月7日現在の会員数：12月から2月の期間に中2丁目で4名、西2丁目で1名の方が入会され、総会員数は427名となっています。(引越し等で退会された方は4名)

編集後記：中の会はホームページに会の情報を掲載しています。月例プログラム(大学通り清掃、おとこの台所、資源物回収)、時期に合わせた企画プログラムなど(例：新年会、もちつき)のスケジュール、またその活動の報告写真などを掲載しています。是非、ご活用ください。



国立会

中の会

国立会中の会会報：第50号
発行責任者：国立会中の会
会長 河村 隆造
連絡先 長谷川 042-576-9359



令和8年 新年会開催



1月17日、国立商協ビル2階さくらホールに44名の会員が一堂に会し、国立会中の会の新年会が開催された。長谷川理事の司会で河村会長の挨拶、木島理事の乾杯の発声で会は始まり、新年の雰囲気醸し出した食事と歓談で親睦を深めた。田代理事から昨年の中会の活動報告、

新年の笑顔あふれて、ハイ、ポーズ!

加藤理事から中の会50周年記念誌発行の紹介があった。記念誌は来年1月号まで5回の発行計画である。今年のアトラクション企画は、荒 博子さんによるピアノ演奏。曲目は、プレリュード(バッハ)、月光(ベートーベン)、ノクターン(ショパン)、愛の夢(リスト)。情熱的な演奏はもちろん、曲や作曲者の思いやストーリーの指南は、新年会参加者を感動の渦に巻き込んだ。続いて、長谷川理事の軽妙なフリートークと漫談が笑顔で会場を和やかにし、荒さんのリードする、参加者全員の合唱でお開きとなった。



ピアニスト荒さん手記

はじめに。新年会にお招き下さり、ほんとうにありがとうございました。かわいらしいソングシートも作って下さり、多くの方々と共に楽しい時間をすごす事ができました事、深く感謝致しております。ラクカラーチャのパタカラーチャ、ロズさんでいらっしゃいますか?



さて、私は、18才の時、国立音大に入学し上京して来ました。故郷は愛知県岡崎市です。徳川家康の生れ故郷でもあり、幼少期には岡崎城跡地がよく遊びました(現在は立派な岡崎城があり美しい公園となっています)。

魂の演奏家、荒さん

その後、音大に入学以来60年、私はこの国立市に住んでおります。大学時代、何の為に音楽をやるのか、何の為に生きるのか?という大命題にぶつかり、自己との壮絶な戦いをいたしました。その結果、音楽は賛美であり、生きることそのものが賛美である事を教えられ、現在にいたっております。全ての被造物が賛美をかなでている事に気づかされ、日々感謝と喜びの生活を致しております。今回はこのような機会が与えられ、ほんとうにありがとうございました。(中2丁目 荒 博子)

新年会に参加して



みんなで乾杯!

越してきて3年、待望の新年会に初参加。素敵なピアノ演奏もあり食事も立派でアルコール類も並びましたが、雰囲気や交わされる会話に気品があり「さすが『中の会』だな〜と、実りあるいい時間を過ごさせていただきました。夫婦共に現職の為イベントに参加できませんが、この宴来年も必ずやと思っております。

(中2丁目 薄井 崇友・由枝)

(新年会の写真はプロの写真家・薄井崇友さん撮影)

初詣



谷保天満宮の鳥居前

1月6日（火）参加人数は少数だが、谷保天満宮に参拝した。谷保天満宮は国立市の象徴と言っても過言ではなく、その歴史は古い。903年に菅原道真の三男・道武が父の像を祀ったことに始まる、1000年以上の歴史を持つ東日本最古の天満宮である。鳥居から石畳みを歩き階段を注意深く下り、拝殿に向かう。昇殿し昨年の感謝と本年の会員の無病息災、平安無事、家内安全を祈祷し、お祓いを受けた。まだ梅は蕾のままの天満宮をあとにし、谷保駅そばの門前そば '大黒屋'さんでそばを堪能、冬の冷たさを頬に感じつつ帰路につく。丙午の今年が良い年であるよう祈るばかりである。

(中1丁目 河村隆造)

子供達も参加の防災訓練 (たまご食堂とのコラボ企画)

講師：吉川文隆氏（救急救命士、無人航空機操縦士一等）

2月8日、今日は雪の中、防災イベントでドローンの話を聞きに行ってきました。農業散布、測量、物資輸送、インフラ管理、山岳海上救助など幅広い分野で活用されています。手ブレ補正、追尾機能、200倍ズームなど技術の進歩は凄い。ただ、戦争が起こると技術が進歩していくという悲しいジレンマをかかえているという事実も説明されていました。



ドローン実演

これは、原爆もそうですがあらゆる技術革新に言えますね。そして、講師の方は、八潮市の下水道破裂陥没事故の状況調査に実際に携われたとのこと。他にも具体的には、熱海の土砂災害では、上空からの写真で罹災証明を出したり、熊本地震では、崩れた石垣の石の体積を測り、運搬に必要なトラック数を割り出したりしていたそうです。



吉川さんの講演

今後は、空飛ぶクルマ、オスプレイのような垂直離陸式物資輸送機、くま出没管理などが伸びるのではないかとのことでした。ミニドローンの実演は、子どもたちが大喜びでした。

(中2丁目 小野公秀)



この日の防災訓練は早朝の雪かきから始まった。河村さんとお孫さんと一緒にスコップを持って歩いて雪かきに来てくれたのだ。防災訓練企画主力メンバーが不在（選挙立ち会い）の中開催が危ぶまれたが、参加できるメンバーでやっといこうと開催が決まった企画だった。ドローンを楽しみにしている子もいると聞くのにこの雪である。でも誰も中止にするとは言わず、関わるメンバーは、長靴・防寒着で歩いて続々と集まってきた。

今回は、中の会とたまご食堂のコラボ企画。たくさんの子どもの参加を期待していたが、雪のため子どもたちは家で留守番が多かったようだ。

でも思い出すと昨年の中会の餅つき行事には、たまご食堂利用の若い親子の参加も多く、老若男女たくさん笑顔が見られた。集まって、しゃべって、一緒に食べる・・・そんな日常が防災につながる感じた、餅つき大会と防災訓練であった。

(中2丁目 坂本葉子)



雪かきで準備



二小での夜間防災訓練

2026年2月20日17～19時に、校舎の改築工事を終えた二小で、子どもと考える防災イベントを試験的に実施しました。令和7年度二小PTAの発案で、市の防災安全課、三和会・西の会・中の会から成る避難所運営委員会、地域エネルギーと一橋大学サークル「あかるくらぶ」の皆様と、PTAの保護者・児童合計15名が参加しました。「二小が避難所になったら？」を一緒に考え、暗い校庭で簡易トイレの設置と校舎内の備蓄品を見学しました。参加された保護者・児童からは「電気や水などのインフラや家庭での備えの大切さなどが分かった」「今後もっと多くの人に知ってほしい」などの声が出ました。

(中3丁目 中谷純江)



簡易トイレ

観梅

2月17日、府中郷土の森公園で真っ盛りの梅を堪能してきました。前夜にお誘いしたハンガリーからの留学生ラウラさんも参加してくださいました。帰国間際でお忙しいにも拘わらず観賞記を英文でお寄せ頂いたので一部訳文でご紹介します。



観梅会に参加して ラウラ（一橋大学の交換留学生）

2月17日、ホストファミリーとそのご近所の方々と、『府中郷土の森の梅祭』に行きました。まだ冬の寒さは残っていますが梅の花は既に春の訪れを私たちに感じさせてくれます。郷土の森の梅園では、様々な種類の梅の花を楽しむことができました。特に「白加賀」の優雅な白い花と「枝垂れ梅」の優美な枝ぶりに感動しました。又、「蠟梅」の淡い黄色の花々が一面に咲き、甘い香りを漂わせていました。どうやら、私たちの人間の目だけが魅了されていたわけではなく、小さなメジロとジョウビタキも木々の間で早春を楽しんでいたようです。その後、明治末期に遡る公園に保存された伝統的な家屋をいくつか見学しました。その中には、明治初期の郵便局や、かつて絹を作るための養蚕農家もありました。そのスタッフはとても親切で、建物の歴史を日本語と英語の両方で丁寧に説明してくれました。その後、公園のレストランで温かいうどんを楽しみながら、休暇の思い出や今まで訪問したお気に入りの場所、そして行ってみたい旅行先について語り合いました。梅祭では、季節の移り変わりを味わい、日本で過ごした時間を振り返る良い瞬間でした。



記念撮影

As winter comes to an end, I will finish my semester here, and next week I will return to my home country, Hungary. I will leave Japan with beautiful memories and the friendships of lovely people I have met. (2月末、ハンガリーに帰国)

* 12月にはイタリアやノルウェーの友達と“中の会の餅つき”にも参加しました。*

資源物回収

毎月第一土曜日は資源物回収日なので8時半頃から中地区を回って来た車、前後のかごに積んだ自転車、両手に持って歩いて来られる方、アルミ缶、ダンボール、新聞などがたくさんの方の手によって中防災センターに運ばれて来ます。



収集された資源物

今月は少なめかな？夏で水分を摂る機会も増えてアルミ缶が多い？断捨離して本が多いのかしら？なんて考えながら資源物をそれぞれの場所に区分けしています。ここでは、缶の回収はアルミ缶だけですが、リサイクルする事でCO2排出量の削減になり地球温暖化防止の手助けにもなります。また国立市からの奨励金で中の会の子ども達の為の行事にも還元されています。今後も中防災センターからリサイクルの輪を広げて行きたいと思います。会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

(中1丁目 市野澤 恵)